

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲載ページ
本 部	4月8日(土)	映 画 会 第3回海洋開発シンポジウム 第58回通常総会	土木学会 同 京 東	3号本文 127 参照
	5月20日(土)			3号本文 128 "
	5月29日(月)			3号本文 124 "
東 北 支 部	5月11日(木)	支 部 総 会	仙 台 市	3号本文 130 "
関 東 支 部	4月27日(木)	第9回通常総会	土木学会	3号本文 130 "
中 部 支 部	3月21日(火)	見 学 会 支 部 総 会	名 古 屋 市 同	2号本文 150 "
	4月19日(水)			3号本文 130 "
関 西 支 部	5月17日(水)	第45回支部総会 年次学術講演会	大 阪 市 同	3号本文 131 "
	6月5日(月)			1号本文 149 "
中国四国支部	5月25日(木)	支部総会および特別講演会 年次学術講演会 見学会	高 松 市 同 同	3号本文 131 "
	5月26日(金)			3号本文 131 "
	5月26日(金)			3号本文 131 "
そ の 他	4月3日(月)	日本学術会議第17回材料強度と破壊国内総合シンポジウム 第3回安全工学国内シンポジウム 第10回接着研究発表会「複合材料と接着」シンポジウム	東 京 京 同 同	2号本文 147 "
	5月25日(木)			2号本文 147 "
	~26日(金)			
	6月7日(水)			2号本文 148 "
お 知 ら せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 論文報告集規定ページの変更について</li> <li>■ 昭和47年度から特別会員費の改正について</li> <li>■ 昭和47年度から論文報告集購読料の改正について</li> <li>■ 土木学会昭和47年度全国大会・第27回年次学術講演会実施要領</li> <li>■ 「土木製図基準」の価格改訂について</li> <li>■ 「土木学会原稿用紙」の価格の改正について</li> <li>■ 「土木学会誌」広告料金一部改訂について</li> <li>■ 第12回地盤工学研究発表会講演募集</li> <li>■ 第19回海岸工学講演会講演募集</li> <li>■ 「荷重、外力と構造物の安全性」に関する研究発表論文募集</li> <li>■ 第5回土木学会映画コンクール作品募集</li> </ul>			1号本文 140 "
				3号本文 124 "
				3号本文 124 "
				3号本文 125 "
				3号本文 126 "
				3号本文 127 "
				3号本文 127 "
				3号本文 128 "
				3号本文 128 "
				3号本文 129 "
				3号本文 129 "

### 支 部 所 在 地

北海道支部：郵便番号 060・札幌市南1条西2丁目・勸銀ビル5階 (電 011-251-7038)

東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町 18-25・丸七ビル3階 (電 0222-22-8509)

関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内 (電 03-351-4133)

中部支部：郵便番号 460・名古屋市中区三の丸3丁目 1-2・愛知県土木部道路建設課内  
(電 052-961-2111・内線 2428)

関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号  
(電 06-271-6686)

中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町 10番3号・自治会館内 (電 0822-21-2666)

西部支部：郵便番号 810・福岡市薬院2丁目 14番 12号 (電 092-78-3716)

### 評 議 員 選 挙 告 示

昭和47年評議員選挙を各支部ごとに4月末までに執行いたします。各支部の評議員新定数は、47年1月31日現在における所属会員数(規則第18条により)に比例、按分した結果下記のとおりです。

支 部	北 海 道	東 北	関 東	中 部	関 西	中国四国	西 部	合 計
評議員数	6	5	42	12	22	6	7	100

### 理 事 なら び に 監 事 選 挙 告 示

昭和47年理事ならびに監事の選挙を47年4月末日までに執行いたします。

昭和 47 年の通常総会は、下記のとおり東京において開催しますのでお知らせします。

1. 期 日：1972 年 5 月 29 日 (月) 14.00～18.00
2. 場 所：私学会館講堂 (東京都千代田区九段北 4-2-25)  
(国電中央線市ヶ谷駅下車徒歩 3 分)
3. 総 会：14.00～15.30  
 事 業 報 告  
 決 算 報 告  
 名誉会員の推挙  
 土木学会賞の授与  
 新 役 員 の 紹 介
4. 特別講演：15.30～16.30 超高速新幹線について (仮題) 国鉄常務理事 長 浜 正 雄
5. 懇 親 会：16.40～18.00 私学会館ホール

## 昭和 47 年度から特別会員会費の改正について

(昭和 47 年 1 月 19 日の臨時評議員会にて土木学会規則一部改正 議決)

近年相つぐ物価の昂騰、人件費の上昇、公共料金の値上げなどのために、昭和 46 年度から正会員および学生会費の会費をそれぞれ 50% 値上げしましたが、特別会員については等級の格上げ、新規入会の勧誘中でありましたので、会費の改正を 1 年間遅らせることにいたしておりました。

昭和 47 年度から次のとおり改正いたしますが、前回改正の時から満 6 年を経過しておりますことでもあり、諸事情ご賢察下され、ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

### 改正特別会員会費

(47 年 4 月から)

特 級	250 000 円以上
1 級 A	150 000 円
1 級 B	90 000 円
1 級 C	50 000 円
1 級 D	25 000 円
2 級 (学校および図書館)	10 000 円

## 昭和 47 年度から論文報告集購読料の改正について

近年論文報告集は、登載論文報告編数が増加の一路をたどり、ここ 2 年間 1 冊平均 70 ページから 130 ページと 85% 増となりました。これに加えて印刷単価その他諸物価の値上りなどもありましたので、昭和 47 年度から購読料を次のとおり改正いたすことになりました。

諸事情ご賢察下され、ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

### 改正論文報告集年間購読料

(47 年 4 月から)

**3 000 円** (外地は 12 アメリカドル)

なお、新規購読開始、継続購読中止のいずれの場合も 47 年 3 月末日までに申出下さい。

## 土木学会昭和47年度全国大会・第27回年次学術講演会実施要領

土木学会第27回年次学術講演会は、昭和47年度全国大会学術講演会として、昭和47年10月20日(金)、21日(土)、22日(日)の3日間、福岡市内において開催することになりました。

講演要領その他は下記のように決まりました。従来通り、概要集作製は学会本部担当、プログラム編成は支部担当ですので、講演申込先は西部支部、講演概要の原稿提出先は学会本部となります。講演希望者は期限までに講演申込み(期限5月15日西部支部 必着)ならびに講演概要の原稿提出(期限7月17日 土木学会本部 必着)をして下さい。

1. 実施期日：昭和47年10月20日(金)、21日(土)、22日(日)

2. 実施場所：九州大学(福岡市箱崎)

3. 講演要領：

① 講演時間：講演時間は1題あたり約15分(質疑討論・交代時間を含む)とします。

② 発表方法：研究論文は各部門とも、個人発表または総括報告形式として発表します。

個人発表は原則として1題ごとに質疑討論を行いません。

総括報告形式では同じ種別の論文数編ずつを、総括報告者がまとめて報告し、その後に各著者への質疑討論を行いません。

③ 方式の決定：個人発表とするか、総括報告形式とするかは、各自の希望を参考に学会で決定し、学会誌7月号に掲載します。

④ 講演部門：講演部門は、次の5部門に分けます。

第I部門：応用力学・構造力学・橋梁など

第II部門：水理・水文・河川・海岸・港湾・発電水力・衛生など

第III部門：土質力学・基礎工学・岩盤力学など

第IV部門：道路・鉄道・都市および地域計画・交通計画・測量など

第V部門：コンクリートおよび鉄筋コンクリート・土木材料・施工法など

4. 講演申込：

① 講演者の資格：講演者は個人の土木学会会員に限ります。連名者は非会員でもさしつかえありません。

② 講演内容：原則として未発表のものに限ります。

③ 申込題数：全部門を通じて講演者1人1題に限ります。

④ 申込方法：所定の申込カードを使用して下さい。申込カードは各支部に準備してありますから、所属支部へ請求して下さい。

⑤ 申込期限：5月15日(月)必着のこと。期限後到着のものは受理できません。

⑥ 申込あて先：下記へ直送して下さい。

〒810 福岡市薬院2丁目14番21号 土木学会西部支部全国大会講演係

5. 講演概要原稿：

① 概要の目的：講演概要は聴講者に内容を徹底させ、あわせて講演時間を短くし、かつ来聴できない会員に講演内容を速報するために作成します。

② 内容：講演概要は一般会員がこれによって十分理解できるよう、研究の考え方と結論をわかりやすく書いて下さい。

③ ページ数：原稿の長さは原則として、2ページとします。超過する場合でも4ページまでとします。4ページを超えるものは受け付けません。

④ 原稿用紙：原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますので、所定の原稿用紙を用いて下さい。原稿用紙は執筆要領とともに各支部に準備してありますから、所属支部へ請求して下さい。

⑤ 提出期限：7月17日(月)必着のこと。期限までに原稿提出のないものは、講演申込みを

取消します。

⑥ 提出あて先：下記へ直送して下さい。

〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会全国大会講演概要集係

6. 講演概要集頒布：講演概要集はすべて有料です。学会誌7月号とじ込み予定の購入申込書によってお申込み下さい（申込期限8月31日予定；申込先土木学会西部支部内全国大会講演係，送本9月下旬予定，土木学会全国大会講演概要集係より送本します）。講演者（連名者を除く）には各自の原稿の別刷30部を贈呈しますが，特別の増刷はいたしません。

講演概要集申込あて先 〒810 福岡市薬院2丁目14番21号

土木学会西部支部内全国大会講演係

7. 講演申込者へお願い：講演申込みならびに講演概要原稿提出は必ず期限を守って下さい。期限後到着のものは，プログラム編成，概要集の編集と印刷の作業進行上，全く余裕がありませんので受理いたしません。

講演・概要集・関係日程一覧

講演申込カード，原稿用紙，執筆要領	請求先	所属各支部
講演申込：申込期限 5月15日（月）	申込先	土木学会西部支部内全国大会講演係
講演原稿：提出期限 7月17日（月）	提出先	土木学会本部内全国大会講演概要集係
概要集購入：申込期限 8月31日（木）	申込先	土木学会西部支部内全国大会講演係
概要集送本：予定日 9月下旬	送付者	土木学会本部内全国大会講演概要集係

「土木製図基準」の価格改訂について

土木製図基準は1970年版を大幅に改訂したこと，印刷経費の増大などにより次のとおり価格を改訂いたしましたので，お知らせいたします。

	定 価	会員特価	送 料	備 考
1970年版	1400円	1200円	200円	1970年版は絶版とする。
1972年版	1600円	1450円	200円	

サンフェルナンド地震（1971年2月）の震害報告書頒布について

1971年2月9日にカリフォルニア南部を襲った地震はダム・橋梁・電力設備・住宅などに大被害をもたらした。この地震で近代的施設が被災したことが都市防災の立場から注目され，土木学会では構造物の耐震に関する研究を行なう立場から9名からなる調査団を現地へ派遣して震害調査を行なった。

本報告書はこの調査団の調査結果にもとづいて構造物の被害状況とその発生についてとりまとめたもので，将来土木構造物の耐震性を検討する場合に大いに参考となるものであり，広くご一読されるようおすすめする。

なお，本書は土木学会論文報告集に掲載したものに，口絵写真を追加して別冊としてとりまとめたものである。

内 容：1. カリフォルニア南部の地震事情／2. サンフェルナンド地震／3. ダム・電力設備・給水設備の被害／4. 埋設パイプラインの被害／5. 道路・橋梁の被害／6. 鉄道の被害／7. 地震に際してとられた諸措置と得られた教訓

体 裁：B5判 8ボ2段組 32ページ，口絵写真 4ページ

定 価：350円 送料：70円

## 「土木学会原稿用紙」の価格改正のご案内

土木学会の各種論文執筆用の専用原稿用紙の価格を、生産費の値上り等に伴い、47年1月より下記のとおり改訂させていただきます。

昭和47年1月

土木学会

### 記

旧価格1冊60円を1冊100円に改正(47年1月より)

ただし、送料は現行どおりですので原稿用紙代に下記金額をそえて、お申込み下さい。

1冊・45円/2冊・75円/3冊・85円/4冊・115円/5～8冊・200円

注文先：〒160/東京都新宿区四谷1丁目 社団法人土木学会 事務局編集課原稿用紙係

以上

## 映画会開催について<於土木学会講堂>

▶ 4月8日(土) ◀

- 場 所：土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車)
- 日 時：毎月第2土曜日 14.00～4月は8日(土)です。
- 上映映画：4月は、学会誌2月号にて原子力発電の特集が組まれましたが、これに関連する国内にて建設された「原子力発電所」に関する映画を予定致しました。  
原子力の中に占める土木技術の位置付け等をご理解頂ければ幸いです。  
「東海発電所の建設記録」45分 } 日本原子力発電・提供  
「陸の孤島を開く一敦賀発電所」54分 }  
「臨界一美浜発電所」42分 関西電力・提供  
「のびゆく原子力発電一福島原子力発電所」33分 鹿島建設・提供  
なお、上映映画は都合により変更することがございますので、あらかじめご了承下さい。
- 参加費：無料 土木関係以外の方も歓迎致します。  
本映画会に関する問合せは、土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。  
共 催：土木学会関東支部

## 「土木学会誌」広告料金一部改訂について

土木学会誌は大正4年2月(1915年2月)に第1巻第1号を発行して以来、本年度で57年目を迎えました。この間、学会の看板として多くの会員に親しまれ、内容の充実、会員数の増加に伴う発行部数の飛躍的増加となって、土木技術の進展とともに成長して参りました。これもひとえに関係各位のご協力の賜と深く感謝いたしております。しかしながら今後より一層、誌面を刷新し情報化時代に即応した内容を充実してゆくことは、最近の諸物価、とくに印刷人件費の高騰を考えた場合、非常に困難となって参りました。つきましては広告利用者各位にはまことに申訳ありませんが、47年4月号より3年ぶりに広告料金の一部改訂の止むなきに至りましたので、よろしくご賢察、ご協力のほどお願い申し上げます。

土木学会誌1ページあたり広告料金(単位ページ・円)

	表紙2	表紙3	表紙4	後付	色紙	繰込 (持込み)
旧料金	70 000	60 000	80 000	45 000	50 000	60 000
改訂料金	据置き	据置き	据置き	50 000	60 000	据置き

\* 1/2 ページの場合は半額とする。

## 第3回海洋開発シンポジウム開催について

▶ 5月20日(土) ◀

下記により第3回海洋開発シンポジウムを開催致しますので多数の参加を希望致します。

1. 日 時：1972年5月20日(土) 9.30~14.00
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂(国電四谷駅徒歩5分)
3. 主 催：土木学会海洋開発委員会
4. プログラム：詳細は次号にてお知らせ致します。

## 第12回地震工学研究発表会講演募集

下記により第12回地震工学研究発表会を開催致しますので、講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1972年7月18日(火)~19日(水)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 募集規定：
  - (1) 講演内容：理論、実験、耐震設計の実例、復旧工事、震害等
  - (2) 申込方法：4月17日(月)までに題目、講演者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける)、勤務先、連絡先を明記し、土木学会耐震工学委員会までお申込み下さい。ただし、講演の採否は土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。
  - (3) 講演概要原稿締切期日：6月5日(月)厳守  
講演概要はオフセット印刷致します。原稿の長さは1題目刷上り4ページ以内(図・表・写真を含み6480字)とし、所定の原稿用紙にタイプまたはスミ書きにして下さい。なお、講演時間は1講演15~20分(質問時間を含まず)の予定です。

## 第19回海岸工学講演会講演募集

第19回海岸工学講演会を下記により開催致しますので、講演ご希望の方は講演募集要項をご参照のうえご応募下さい。

なお、期日に遅れたものは受けられませんのでご注意ください。

1. 開催期日：1972年11月13日(月)、14日(火)
2. 場 所：第1会場：日消ホール(東京都港区西久保明舟町)地下鉄虎ノ門下車徒歩3分  
第2会場：発明会館( )
3. 講演申込締切：1972年5月31日(水)必着
4. 講演原稿締切：1972年7月15日(土)必着
5. 講演募集要項：
  - (1) 講演申込みの際には、次の事項を記載して下さい。
    - ① 講演題目
    - ② 著者名(連名の場合には登壇者に○印をつける)ならびに職名および連絡先住所
    - ③ 刷上り予定ページ数
    - ④ 論文要旨(800字程度)
  - (2) 同一内容の講演を一緒に2つ以上申込みことおよび同一著者が重複して登壇するものは受けません。
  - (3) 原稿1編の長さは原則として5ページ以内(350字詰原稿用紙30枚以内(図、表、写真を含む))と致します。
  - (4) 原稿の内容により5ページ以内に収録することが困難な場合は著者に実費(超過1ページにつき7500円)を負担していただきます。
  - (5) 講演の採否については、海岸工学委員会にご一任下さい。

- (6) 講演原稿は“原稿執筆要項”に基づき執筆していただきます。なお、採用講演には原稿執筆要項を原稿用紙と一緒に送付致します。
- (7) 講演申込先および連絡先  
〒160 東京都新宿区四谷1丁目 社団法人土木学会海岸工学委員会  
電 (03) 351-5138 (代表)

## 「荷重、外力と構造物の安全性」に関する研究発表論文募集 (第19回橋梁・構造工学研究発表会)

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を、本年度は標題のテーマにより、下記のとおり開催致します。趣旨につきましては本誌56巻3号(昨年3月)にも予告致しましたが、多数の方がふって論文提出にご応募下さい。なお、今回は、できましたらパネル討論のようなものも企画してみたいと考えております。

### 記

1. 期 日：1972年12月1日(金)
2. 会 場：(未定)
3. 主 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
4. 申込要領：
  - (1) 内容：次の各項に関する独創的な実験あるいは理論的研究を対象とする。
    - ① 荷重の実態と構造物の安全性との関係
    - ② 動的外力に対する構造物の応答と安全性
    - ③ 大規模構造物における安全性評価上の諸問題
  - (2) 申込方法：8月末日までに論文題目、発表者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける)、勤務先および連絡先と、100字以内の内容概要を添えて、学会宛お申込み下さい。採否は日本学術会議構造研究連絡委員会にお任せ願います。採用のうちは、10月15日までに講演原稿の提出をお願いすることになります。

## 第5回「土木学会映画コンクール」作品募集 (旧称 国土開発映画コンクール)

土木学会は過去4回にわたり「国土開発映画コンクール」を開催してまいりましたが、今回より「土木学会映画コンクール」と名称を改め下記要項により開催致しますので、ご応募下さいますよう、また、関係の向きにお勧め下さいますようお願い申し上げます。

本映画コンクールも回を重ねるごとに応募作品も増え、また、質的な向上とも相まって土木技術の普及、発展に大いに寄与することができたと自負致しております。

奮ってご応募下さいますようご案内申し上げます。

### 「土木学会映画コンクール」募集要項

1. 内 容：土木事業または土木技術を中心としたもの
  2. 規 格：16mm カラーフィルム トークー 昭和45年10月以降完成の作品に限る
  3. 縮 切：昭和47年9月30日
  4. 申 込 先：社団法人 土木学会編集課(東京都新宿区四谷1丁目 電話 03(351)5130)
  5. 審 査：土木学会映画審査委員会
  6. 賞 状：最優秀賞1編、優秀賞2編、準優秀賞3編、賞状ならびに賞牌  
(該当作品のない場合は変更することがあります)
  7. 発 表 会：昭和47年12月9日(土) 土木学会土木図書館講堂
- なお、土木学会選定映画はコンクール候補作品と致しますので、再提出して頂きます。
  - 応募希望者は申込先へ申込用紙をご請求下さい。

**東北支部行事案内** (郵便番号 980 仙台市二日町 18-25 丸七ビル 3階)  
電 0222-22-8509

**昭和 47 年度東北支部総会** <於仙台市>

▶ 5月11日(木) ◀

1. 日 時: 1972年5月11日(木) 16.00~
2. 場 所: 建設会館 6階(仙台市上杉 1-4-20)
3. 議 題: ① 昭和 46 年度事業報告および決算報告の承認  
② 昭和 47 年度事業計画および予算の報告  
③ 役員改選の報告  
④ その他  
⑤ 映画(題未定)

◎この会告をもって総会開催の通知といたします。なお総会后18.00より懇親会を催します(会費1000円)。準備の都合がありますから総会ならびに懇親会に参加の方は5月9日までにお知らせ下さい。

**関東支部行事案内** (郵便番号 160 東京都新宿区四谷一丁目土木学会総務課内)  
電 03-351-4133

**関東支部第9回通常総会** <於東京>

▶ 4月27日(木) ◀

1. 日 時: 1972年4月27日(木) 16.00~18.00
2. 場 所: 土木学会土木図書館講堂
3. 議 題: ① 昭和 46 年度事業報告および決算報告の承認  
② 昭和 47 年度事業計画および予算の報告  
③ 商議員改選の承認  
④ 映画(最新版予定)

◎この会告をもって総会開催通知といたします。  
支部会員多数ご出席下さい。

**中部支部行事案内** (郵便番号 460 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号  
愛知県土木部道路建設課内・電 052-961-2111 内線 2428)

**昭和 47 年度中部支部総会** <於伊勢市>

▶ 4月19日(水) ◀

1. 日 時: 1972年4月19日(水) 13.00より
2. 場 所: 伊勢市観光文化会館  
伊勢市岩濑1丁目13番地(近鉄宇治山田駅前)
3. 総 会:
  - ① 開会の辞 旧幹事長
  - ② 旧支部長挨拶
  - ③ 新支部長挨拶
  - ④ 会長挨拶
  - ⑤ 会務報告 旧幹事長
  - ⑥ 特別講演

- |  |                    |
|--|--------------------|
| イ) 三重県の土木事業について                            | 三重県土木部長 清水 保       |
| ロ) 近畿自動車道伊勢線および東名阪道路について                   | 日本道路公団名古屋支社長 池上 雅夫 |
| ハ) 農業用水路の量水について                            | 三重大学名誉教授 小柳 弥      |
| ニ) 近畿日本鉄道大阪復線化工事について 近畿日本鉄道(株)大阪線復線化工事事務所長 | 浜田 俊郎              |

4. 懇 親 会: 志摩郡賢島 新賢島荘/参加費: 2500円
5. 見 学 会: 20日 9.00 賢島一合歡の郷-伊勢志摩スカイライン-伊勢市 20日 11.30 頃解散
6. 申 込 み: 土木学会中部支部へ4月6日(木)までにお申込みください。なお懇親会出席希望者は会費を添えて、宿泊の要, 不要, 見学会参加, 不参加も同時にお申込みください。



関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央2丁目2番地船場センタービル4号館) 409号 電 06-271-6686 番 振替口座大阪 82599 番

関西支部第 45 回通常総会 <於大阪市>

▶ 5月 17 日 (水) ◀

1. 日 時: 1972 年 5 月 17 日 (水) 15.00~17.30
2. 会 場: 今橋クラブ 電話大阪 (06) 203-0836 番  
大阪市東区今橋1丁目15 日本経済新聞社別館内 地下鉄堺筋線北浜下車 今橋筋東え約 200 m
3. 総 会: 15.00~15.30  
1. 諸報告 2. 支部規定改正について 3. 新役員紹介 4. 現・新支部長挨拶
4. 講 演:  
15.30~16.30 ① 破砕帯内の地下水の地盤安定におよぼす影響 神戸大学教授工学部 工博 田中 茂  
16.30~17.30 ② 本四架橋の現況について 本州四国連絡橋公団調査部長 相良 正次
5. 懇 親 会: 講演終了後、懇親会を催します。(12 階会議室、開会 17.30 よりの予定)  
参加費 1 000 円
6. 申 込 方 法: 総会、講演参加希望者は、参加予定人員をはがきまたは電話にて、懇親会参加希望者は、勤務先、連絡先および氏名を明記(様式随意)のうえ参加費 1 000 円を添えて来る 5 月 4 日 (木) までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。  
懇親会参加証をお送りします。

(付) テキスト頒布について

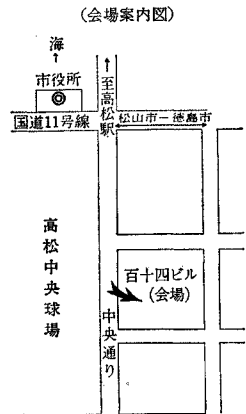
最近の機械化施工の趨勢と問題点	頒価 1 400 円	送料 120 円
土木工事における土中水の扱い方	〃 1 800 円	〃 120 円
水理学・水文学における最近の進歩	〃 1 800 円	〃 150 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

中国四国支部行事案内 (郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号・自治会館内) 電 0822-21-2666

(1) 昭和 47 年度中国四国支部総会、特別講演会、第 24 回学術講演会

1. 日 時: 1972 年 5 月 25 日 (木) 9.00~12.30 } 学術講演会  
5 月 26 日 (金) 9.00~12.30 }  
5 月 25 日 (木) 13.30~13.50—支部総会  
5 月 25 日 (木) 14.00~17.00—特別講演会  
(土質工学会中国支部共催)
2. 会 場: 百十四銀行 5,6 階 高松市亀井町 (電 0878-31-0114)
3. 参 加 費: 無料  
第 24 回学術講演会プログラムは 4 月号に掲載予定



(2) 見 学 会

1. 日 時: 1972 年 5 月 26 日 (金) 学術講演会終了後 13.00~17.00
2. 参 加 費: 500 円
3. 申 込 方 法: 希望者は氏名・連絡先を明記のうえ会費をそえ支部事務局までお申込み下さい。申込期限: 5 月 15 日
4. 申 込 先: 土木学会中国四国支部 〒 730 広島市基町 10 番 3 号 自治会館内 電 0822-21-2666
5. 見学コース: 高松(会場前)~番ノ洲~琴平公園~香川上水~高松(駅前)帰着 (17.00 時頃の予定)
6. 定 員: 50 名

## 1 第1回トンネル工学シンポジウム

B5判・106ページ  
定価 400円  
会員特価 300円  
(〒80)

トンネル用鋼アーチ支保工の設計施工について/長大トンネルの地質/トンネル工事における災害の実情について/高熱トンネルの施工について/名古屋市高速度鉄道のシールド工法について/わが国トンネル施工のすう勢と問題点について

## 2 最近のトンネル工学 — 工事の実例と話題 — 〈第2回トンネル工学シンポジウム〉

B5判・136ページ  
定価 500円  
会員特価 400円  
(〒80)

トンネル標準示方書制定について/青函トンネルについて/国鉄新丹那トンネルについて/羽田海底トンネルについて/富士川用水導水トンネル工事について/AN-FO爆剤とその発破法

## 3 第3回トンネル工学シンポジウム

B5判・146ページ  
定価 1000円  
会員特価 800円  
(〒100)

トンネル土圧/トンネル土圧の測定方法と現況/トンネル用鋼アーチ支保工の強度について/トンネル掘削における余掘りの実態について/セグメントの設計について/栗子トンネルの工事計画と施工実績について/国鉄親不知トンネルの施工実績について/青函トンネルにおけるウォールマイヤー式トンネル掘削機の掘削試験について/大阪地下鉄複線型と単線型シールドの実施例と問題点/シールド工法による駅部の施工計画について/わが国における中小口径シールド工事の現況について

## 4 わが国シールド工法の実施例・第1集

B5判・338ページ  
定価 2200円  
会員特価 1800円  
(〒170)

第I部 工事概要/第II部 設計および実績/第III部 セグメント/第IV部 シールドおよび付属機械/第V部 工事中機械その他/第VI部 主な図表類/付録 鉄道および道路・下水道・上水道・電力および通信・地下道その他に分類158件を収録

## 5 第4回トンネル工学シンポジウム

B5判・268ページ  
定価 1800円  
会員特価 1600円  
(〒140)

ソ連の地下鉄/アメリカのトンネル工事を視察して/アメリカにおける山岳トンネル工法/アメリカにおけるトンネル掘きく機/アメリカにおける都市トンネル/アメリカにおけるコンサルタント業務/アメリカにおける請負工事の諸事情について/アメリカのトンネル施工に関する新技術/欧州のトンネル工事を視察して/欧州におけるトンネル請負工事の諸事情について/欧州における山岳トンネル工法/欧州におけるトンネル掘進機について/欧州のシールド工事/欧州における地下鉄工事/欧州における沈埋工事

## 6 第5回トンネル工学シンポジウム

B5判・124ページ  
定価 1000円  
会員特価 900円  
(〒80)

六甲トンネルの碎破帯突破について/トンネルの掘きくに伴う地表沈下測定例について/牧の原地すべり地区のトンネル施工について/紅葉山線・新登川トンネルの蛇紋岩区間の施工法と膨張土圧の測定結果について/京葉線・多摩川河底沈埋トンネルについて/大阪地下鉄の沈埋管工事—堂島川と道頓堀川の施工例について—/近鉄難波線の大型機械化シールドの施工例について

## 7 第6回トンネル工学シンポジウム

B5判・250ページ  
定価 1800円  
会員特価 1600円  
(〒140)

I. 岩石トンネル掘進機の現状と将来(アメリカの場合,日本の場合), II. 山岳トンネルにおける不良地盤掘削工法(イタリアの場合,アメリカの場合,日本の場合,日本の膨張性地山におけるトンネル施工法,トンネル土圧の時間依存性), III. 市街地の軟弱地盤におけるトンネル工法(イギリスのシールド工法,日本の都市トンネルの現状,東京駅の大規模開削,ドイツの地下切掘げ,日本の地下切掘げ工法の問題点), IV. 沈埋工法の現状と将来(オランダの場合,日本の場合),などTunnel Symposium '70と題して9月14~16日・東京文化会館で開かれたシンポジウム発表論文のすべてを収録す。

◎昭和46年度第8回理事会議事録(47.1.28)出席者:高野会長,石川,奥村,篠原の各副会長,下村専務理事,浅間,荒木,井上,岩垣,尾崎,岡田,金子,吉川,後藤(尚),鈴木,難波,長谷川,細井,村田,山本の各理事。議事録署名理事の決定:高野会長,下村専務理事,金子理事。A. 報告事項:1)会計報告;下村専務理事から概略説明がありました。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会その他報告。4)臨時評議員会報告;去る昭和47年1月19日(水)に開催された臨時評議員会について,下村専務理事から,会議は出席者21名,委任状提出者50名,合計71名で成立し,議長に八十島評議員を選出した後,議事に入り,議題「特別会員の会費の改訂について」を審議された結果,特別会員の会費を昭和47年度から改訂することを原案どおり承認された旨の報告がありました。なお,これに関連して特別会員の権利義務その他特別会員の処遇について,会長,副会長,各理事から今後前向きに検討すべきであるとの発言があった。B. 協議事項:1)第58回通常総会予定について;下村専務理事から,第58回通常総会を昭和47年5月29日(月)に私学会館(東京都千代田区九段北4-2-25)において開催したい旨の提案があり,議事次第とともに異議なく決定。なお,特別講演の講演者および演題ならびに映画上映および従来総会終了後行なっていた土木学会賞受賞者祝賀会の取扱いについては会長に一任された。2)全国大会について;浅間理事(東北支部幹事長)から,昨年10月に仙台市において開催された昭和46年度全国大会の実施経験にかんがみ,今後の運営上改善または検討すべき事項をまとめたので,審議されたいと提案があり,資料説明の後,種々論議された結果,行事企画委員会に諮問し,その答申をまわって改めて審議することに決定。なお,行事企画委員会における審議に際しては,会務担当理事も出席することになった。3)昭和47年度全国大会予定について;篠原副会長(西部支部)から,昭和47年度全国大会を福岡市(九州大学)において10月20日(金)~22日(日)に開催したいと提案があり,異議なく決定。4)その他:①会員入退会について;下村専務理事から

説明があり承認。なお,これに関連して会長,石川副会長等から,会費滞納等により事実上退会しているとみなされる者の数を整理すべきであるとの発言があり事務局に指示した。②次の理事会について。

◎各種委員会

(1) 論文編集委員会主査幹事会(46.11.19)出席者:前田委員長,伊藤,室田,岩間,林の各主査;ほか5名。議事:1)前回議事録の確認。2)各小委員会報告。3)論文報告集第198号登載原稿について。4)欧文論文集に関連して。5)論文報告集規定ページの変更について。6)投稿要項について。7)土木賞候補論文について。8)その他。

(2) 環境問題小委員会水質分科会(46.11.19)出席者:松本委員長;ほか7名。議事:1)Environmental mapの解説法について検討。2)次回委員会について。

(3) 論文編集委員会第2小委員会(46.11.19)出席者:室田主査;ほか7名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿について。4)欧文論文集の査読について。5)主査幹事会報告。6)その他。

(4) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(46.11.19~20)出席者:岩井委員長;ほか11名。議事:1)浸透によるリンの流出について。2)農耕地からの肥料成分の溶出,流出に関する調査。3)ライシメーターによる肥料成分溶脱調査。4)大中干拓,滋賀県農業試験所,京都大学工学部衛生工学科琵琶湖実験室等の視察。

(5) 第6回土木計画学シンポジウム第2回小型シンポジウム(46.11.20)出席者:長尾幹事長;ほか21名。議事:1)経過報告。2)第6回土木計画学シンポジウム運営細目協議。3)同上への提出諸成果の中間発表と協議。

(6) 行事企画委員会幹事会(46.11.22)出席者:嶋副委員長;ほか2名。議事:1)全国大会のあり方について。2)次回委員会の運営について。

(7) 鋼構造委員会(46.11.24)出席者:友永委員長;ほか17名。議事:1)鋼構造委員会の経過および委員の異動。2)委員会内規(案)について。3)関連する協会委員会について。4)最近の関連国際学会について。5)その他。

(8) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第5回)および見学会(46.11.24~26)出席者:関係者7

名。見学先:宮地鉄工所,横河橋梁製作所,三菱重工業等。議事:塗装について。

(9) 会誌編集委員会座談会(46.11.24)出席者:関係者10名。議事:1)「原委力発電と地域社会」について約3時間ほど座談会を実施した。

(10) 水理委員会幹事会(46.11.25)出席者:吉川委員長,岩佐幹事長;ほか7名。議事:1)前回議事録の確認。2)第16回水理講演会プログラム案の検討について。3)1972年度学術関係国際会議への派遣代表候補者の推薦について。4)1972年度第8回水工学夏期研修会の開催計画の検討。5)水理委員会の研究調査活動の具体案作成について。6)水理公式集改訂に伴う講習会開催について。

(11) 海外活動委員会(46.11.25)出席者:太田尾委員長,吉越副委員長;ほか6名。1)議事:前回幹事会報告。2)Civil Engineering in Japan, 1971の報告。3)バンコック支所について。4)その他

(12) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会打合せ(46.11.26)出席者:関係者2名。議事:報告書のとりまとめについて。

(13) 第4回高校土木教育研究委員会幹事会(46.11.27)出席者:山之内委員長,三宅副委員長,小谷幹事長;ほか7名。議事:1)前回委員会および幹事会議事録の確認。2)委員会会報について。3)昭和47年度夏期講習会について。4)施設設備基準(案)について。5)その他。

(14) 岩盤力学委員会第2回研究会(46.11.30)出席者:関係者37名。議事:講演1)トンネル工事へのロックボルト工の利用について/日本道路公団河村忠孝氏。2)ロックボルト効果に関する実験/国鉄白井慶治委員。3)山陽新幹線西庄トンネルにおけるロックボルトの施工/国鉄伊藤友太郎委員。

(15) 構造工学委員会(46.11.30)出席者:平井委員長;ほか20名。議事:1)構造工学委員会設立の経過。2)委員会内規(案)について。3)委員会のすすめ方について。4)最近の関連国際学会の動き。

(16) “土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会特別幹事会(46.11.30)出席者:関係者9名。議事:1)経過報告。2)各章の検討。

(17) 岩盤力学委員会第3分科会(第12回)(46.11.30)出席者:石原主査;ほか7名。議事:1)運営委員会報告。2)岩盤力学文献目録について。3)現地

岩盤試験資料のとりまとめ。

(18) 原子力土木委員会コンクリート部会 (46.12.1) 出席者: 国分部会長, ほか 23 名。議事: 1) 第3回原子力土木委員会報告。2) 原子炉用コンクリート容量に関する資料抄訳のとりまとめについて。3) PC圧力容量, 格納容量, 設計施工指針(案)の作業方針について。4) 原子炉構造用コンクリートの実験について。

(19) 原子力土木委員会廃棄物部会 (46.12.1) 出席者: 左合部会長, ほか13名。議事: 1) 第3回原子力土木委員会報告。2) 学会誌掲載論文の検討。3) 昭和46年研究費予算の確認。

(20) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会鋼構造分科会(第2回)(46.12.1) 出席者: 関係者9名。議事: 鋼構造関係の検討。

(21) 安全問題研究委員会第6回幹事会(46.12.1) 出席者: 関係者5名。議事: 都市における地下埋設物事故例について。

(22) 終局強度設計小委員会幹事会(46.12.2) 出席者: 河野副委員長, ほか11名。議事: 1) 委員の追加について。2) コンクリートライブラリーの発刊について。3) 小委員会の運営について。

(23) PC工法小委員会(SEEE工法)現地視察(46.12.2) 出席者: 関係者14名。議事: SEEE工法工事現場の視察を行なった。

(24) 文献調査委員会(46.12.2)出席者: 小林委員長, ほか10名。議事: 1) 会誌57巻2号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。4) 文献目録について。

(25) 岩盤力学委員会第1分科会グラウト班打合せ(46.12.2~4) 出席者: 広瀬主査, ほか8名。議事: ダム基礎岩盤のグラウティング施工指針(案)原稿のとりまとめ。

(26) 海外工事契約示様書研究会(46.12.3) 出席者: 吉越主査, 横山, 赤木副主査, ほか15名。議事: 第4章後半につき検討した。

(27) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第4回委員会(46.12.3) 出席者: 大久保委員長, ほか13名。議事: 1) 講演「風速の再現期間計算法の比較考察」泉象庁 菊池原英和氏。2) 耐風設計基準について。2) 耐風実験橋について。3) 風洞試験基準について。

(28) 原子力土木委員会耐震部会(46.12.4) 出席者: 岡本部会長, ほか14名。議事: 1) 入力地震波の検討結果(東地

区)。2) 砂の動的性状の資料説明(東地区)。3) 取, 放水路の耐震設計のアンケート資料の提出説明。4) 断層の問題点と集約の方向について検討。

(29) 下水汚泥・脱水等に関する分科会(46.12.4) 出席者: 左合主査, ほか13名。議事: 1) 各都市の運転報告。2) 各大学実験報告。3) 材質および腐食および脱臭について。4) 報告書のまとめについて。

(30) 会誌編集小委員会(46.12.7)出席者: 千秋委員長, 服部幹事長, ほか8名。議事: 1) 経過報告。2) 学会誌第57巻第5号の編集。3) その他。

(31) 青函トンネル土工研究委員会土庄小委員会(第4回)(46.12.8) 出席者: 関係者12名。議事: 1) 青函トンネル断層破砕帯測定計画。2) 堅岩に扶まれた軟弱岩盤の土庄作用について。3) トンネル覆工に作用する圧力および地山内初期応力の推定について。

(32) 耐震工学委員会編集小委員会(第1回)(46.12.10) 出席者: 久保小委員長, ほか6名。議事: 構造物の地震応答解析と実例(出版物)の検討。

(33) 耐震工学委員会第5回常任委員会(研究会)(46.12.10) 出席者: 久保副委員長, ほか24名。議事: 1) 構造物の地震応答解析と実例(出版物)について。2) 昭和46年度土木学会賞候補推薦について。3) IAEE(国際地震工学会)について。4) 研究会; ①沈埋管の振動実験報告 日本鋼管 横山幸満氏。②有限要素法による沈埋トンネルの地震応答計算方法について 大林組 後藤洋三氏。

(34) 図書館運営小委員会(46.12.10) 出席者: 園田委員長, ほか3名。議事: 1) 報告事項。2) 図書館利用の手引作成について。3) 辞書類および基準・規格等の収集整備について。4) 図書館便りについて。

(35) 視聴覚教育委員会第1小委員会(奨励)(46.12.11) 出席者: 綾幹事長, ほか3名。議事: 第5回国土開発映画コンクールの開催について。

(36) 河北潟干拓河口工事研究委員会および現地視察(46.12.13) 出席者: 福田委員長, ほか15名。議事: 1) 導流堤施工に伴う海岸変化について。2) 河口維持に関する総合的見解。

(37) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第1グループ打合せ(第5回)(46.12.13) 出席者: 伯野主査, ほか14名。議事: 1) 近地地震の調査データについて。2) 今後の開催予定について。

(38) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第2グループ打合せ(第4回)(46.12.13) 出席者: 久保副委員長, 後藤主査, ほか19名。議事: 1) 多柱基礎の動的特性に関する実験的研究 東洋大学 高田委員。2) 杭の横抵抗に及ぼす杭間隔の影響 運輸省 沢口正俊氏。

(39) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第3グループ打合せ(第4回)(46.12.13) 出席者: 久保副委員長, 栗林主査, ほか17名。議事: 1) 従来の研究成果のとりまとめ; ①南港橋(江見委員), ②高橋脚橋梁(毛戸委員)。2) 今後の研究課題とその内容について; ①アーチ橋(倉西委員), ②吊橋(山田委員), ③コンクリート橋(片山委員)。

(40) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会(第1回)(46.12.13) 出席者: 関係者22名。議事: 耐風実験橋に関する検討。

(41) 原子力土木委員会コンクリート部会プレストレストコンクリート原子炉構造物設計施工指針分科会(46.12.13) 出席者: 関係者9名。議事: 1) PCコンクリート原子炉構造物設計施工指針作成につき打合せ。2) 実験の分担実施について。

(42) 創立60周年記念事業委員会記念出版部会(46.12.13) 出席者: 八十島部会長, 下村専務理事, ほか5名。議事: 1) 前回部会議事録の確認。2) 早目に事業を進めたい記念出版物について; ①土木学会ハンドブックの改訂; ②少年向け土木建設シリーズ; ③一般社会人向け啓蒙書; ④日本の土木技術発展の道程(仮称)シリーズ; ⑤日本の土木技術100年の発展のあゆみの改訂。3) その他の記念出版物について; ①土木技術PRパンフレットの出版, ②名著の複製出版, ③土木技術者の道(仮称)の出版, ④土木学会功績賞受賞者の声の記録。4) 事務的な記念出版物; ①学会創立60周年略史, ②学会誌・論文集総索引, ③学会誌創立60周年記念特集号。5) その他; 土木図書館蔵書総目録の出版再検討。

(43) 岩盤力学委員会グラウト班幹事会(46.12.14) 出席者: 関係者4名。議事: ダム基礎岩盤のグラウティング施工指針(案)の実例集について。

(44) 行事企画委員会(46.12.14) 出席者: 森委員長, 嶋副委員長, ほか13名。議事: 1) 全国大会のあり方について。2) 夏期講習会(昭和47年度)について。

(45) 本州四国連絡橋耐震研究小委員

会見学会(46.12.14)出席者:関係者18名。見学事項:人工地盤上の模型ケーソン振動実験。

(46) 総合開発懇談会(第3回)(46.12.15)出席者:八十島座長,ほか18名。議事:1)座長あいさつ。2)藤野会員から「琵琶湖総合開発に関する諸問題」に関し報告を受ける。3)上記2項に関し,質疑応答。

(47) 大学土木教育委員会第20回幹事会(46.12.15)出席者:奥村委員長,山口幹事長,ほか7名。議事:1)前回議事録の確認。2)委員会報告書の原案について;①大学土木教育に関するアンケートの集計結果,②特別依頼原稿の執筆について。3)今後の作業日程について。

(48) 論文集編集委員会第1小委員会(46.12.15)出席者:伊藤主査,ほか11名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)土木賞候補論文について。6)その他。

(49) 論文集編集委員会第4小委員会(46.12.15)出席者:新谷主査,ほか7名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)土木賞候補論文について。6)その他。

(50) 海外工事契約仕様書研究会(46.12.16)出席者:吉越主査,横山,赤木副主査,ほか18名。議事:テキスト第5章の研究討論を行なった。

(51) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会斜面及びのり面分科会(第2回)(46.12.16)出席者:関係者8名。議事:斜面及びのり面に関する検討。

(52) 岩盤力学委員会第3分科会打合せ(46.12.16)出席者:関係者5名。議事:岩盤力学文献目録(第4回)の校正。

(53) 第4回安全問題研究委員会(46.12.16)出席者:丸安委員長,ほか15名。議事:1)新委員および幹事の紹介。2)第3回議事概要。3)幹事会報告。4)今後の運営推進。

(54) 論文集編集委員会第5小委員会(46.12.16)出席者:岩間主査,ほか6名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)土木賞候補論文について。6)その他。

(55) コンクリート委員会(46.12.17)出席者:国分委員長,ほか30名。議事:1)IABSEについて。2)構造工学委員会について。3)日本から提案するテーマについて。

(56) 本州四国連絡橋綱上部構造研究

小委員会解析分科会(第1回)(46.12.17)出席者:大地主査,ほか22名。議事:1)トラス橋の対傾構について。2)吊橋の変形計算法について。3)今後の運営について。

(57) 論文集編集委員会第2小委員会(46.12.17)出席者:室田主査,ほか6名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)土木賞候補論文について。6)その他。

(58) 論文集編集委員会第3小委員会(46.12.17)出席者:久野主査,ほか4名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)土木賞候補論文について。6)その他。

(59) 論文集編集委員会主査幹事会(46.12.17)出席者:前田,久野正副委員長,伊藤,室田,新谷の各主査,ほか5名。議事:1)前回議事録の確認。2)各小委員会報告。3)論文報告集第199号登載原稿について。4)土木賞候補論文について。5)投稿要項について。

(60) 海洋構造物に関する調査研究委員会第2分科会(46.12.20)出席者:村上委員長,吉田主査,ほか7名。議事:活動方針,作業予定について。

(61) 海洋構造物に関する調査研究委員会第3分科会(46.12.20)出席者:有田主査,ほか9名。議事:活動方針,作業予定について。

(62) 海洋構造物に関する調査研究委員会第1分科会(46.12.20)出席者:村上委員長,堀川主査,ほか9名。議事:活動方針,作業予定について。

(63) “土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会特別幹事会(46.12.20)出席者:関係者8名。議事:1)各章の改訂原案の検討。2)今後の作業予定。

(64) 水理委員会第2回編集小委員会(46.12.20)出席者:安芸委員長,ほか2名。議事:「水理学研究の現況」の取りまとめを行なった。

(65) 会誌編集委員会(46.12.21)出席者:千秋委員長,服部幹事長,ほか17名。議事:1)経過報告。2)受付論文査読。3)学会誌57巻4号特集協議。4)その他。

(66) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第7回幹事会(46.12.22)出席者:関係者7名。議事:1)耐風実験橋について。2)耐風設計基準について。3)風洞実験基準について。

(67) プレスドレストコンクリート抗設計施工指針小委員会施工分科会(46.

12.22)出席者:鈴木主査,ほか12名。議事:施工編支持力編の逐条審議。

(68) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会トンネル分科会(46.12.22)出席者:関係者7名。議事:今後の作業の具体的進め方について。

(69) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会(第2回)(46.12.23)出席者:岡内主査,ほか11名。議事:耐風実験橋に関する検討。

(70) フライアッシュ小委員会幹事会(46.12.24)出席者:国分委員長,ほか4名。議事:フライアッシュ規格ブレンド値の変更について。

(71) コンクリート委員会打合せ(46.12.24)出席者:国分委員長,ほか4名。議事:IABSEに提案する議題について。

(72) 会誌・論文集編集委員会連絡会(46.12.25)出席者:会誌委員会千秋委員長,服部幹事長,論文集委員会前田委員長,久野副委員長,長滝幹事。議事:1)両委員会の現状についての説明。2)共通事項について協議。3)その他。

(73) 耐震工学委員会打合せ(46.12.25)出席者:岡本委員長,久保副委員長,ほか5名。議事:サンフェルナンド地震について。

(74) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する分科会(47.1.7)出席者:左合主査,ほか11名。議事第4回分科会記録の確認。2)材質の腐蝕について。3)報告書の執筆分担について。

(75) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会(47.1.8)出席者:寺島委員長,ほか16名。議事:1)経過報告。2)各分科会中間報告。3)昭和46年度調査報告書の作成方針について。4)昭和47年度調査の見通しについて。

(76) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会塗装分科会(第9回)(47.1.10)出席者:関係者7名。議事:塗装仕様書の検討。

(77) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会(第3回)(47.1.10)出席者:関係者14名。議事:1)耐風実験橋作業日程について。2)概略設計計画書について。3)気象調査計画書について。

(78) 文献調査委員会(47.1.10)出席者:小林委員長,ほか5名。議事:1)会誌57巻3号登載抄録について。2)紹介記事について。3)解説記事について。

(79) 会誌編集小委員会(47.1.11)出席者:千秋委員長,服部幹事長,ほか16

名。議事：1) 経過報告。2) 論文査読報告。3) 学会誌 57 巻 4 号編集。4) 学会誌 57 巻 6 号編集。5) その他。

(80) 水理公式集改訂委員会正副主査・幹事会 (46.11.25) 出席者：吉川委員長，岩垣副委員長，岩佐主査，室田主査，岸主査，芦田副主査，堀川副主査，千秋副主査，ほか 5 名。議事：1) 水理公式集改訂版出版完了報告。2) 参考文献類の収集について。3) 正誤表作成と第 2 版以降の訂正について。4) アフターサービスの方法について。5) 講習会の開催について。

◎その他

(1) 昭和 46 年度秋のエキスカージョン (46.11.30~12.1)

場所：山口県  
参加者：38 名  
記事：視察先

- 1 新関門トンネル建設工事 (山陽新幹線)
- 2 関門橋および関門自動車道建設工事
- 3 阿武川ダム建設工事

(2) 第 18 回橋梁・構造工学研究発表会 (46.12.3)

場所：土木図書館講堂  
共催：日本学術会議・日本建築学会・土木学会

テーマ：構造物及びその構成要素の強度と安全性

参加者：約 130 名  
講演数：23

(3) 映画会 (46.12.11)

場所：土木図書館講堂  
出席者：観客 約 20 名  
上映映画：「主塔」  
「天草五橋」  
「尾道大橋」  
「PM を追う」

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 在仙幹事会 (47.1.22, 支部事務局) 出席者：浅間幹事長，ほか 5 名。  
議題：今後の全国大会のあり方について，その他。

(2) 講演と映画の会 (47.2.8, 建設会館)

題目と講師：  
東北新幹線工事計画について  
国鉄仙台新幹線工事局長 西脇等  
都市と地震—ロスアンゼルス地震の教訓—

東北大学工学部長 河上房義  
映 画：多摩川をわたる沈埋トンネル，東名高速道路，十勝沖地震の記録  
参加者：200 名

◎関西支部

(1) 学生映画会

上映映画  
明日への港 16ミリ カラー S 30分  
神戸大橋 " " " 24分  
深層に挑む—防潮水門の基礎 " " " 24分  
世界の人々と共に " " " 30分  
硬岩とマシン " " " 30分  
日時および場所

昭和46年 参加者  
11月24日(水) 明石工業高専視聴覚教室 56名  
" 25日(木) 神戸市立工業高専視聴覚教室 80名  
" 26日(金) 神戸大学土木工学教室 306教室 40名  
" 27日(土) 関西大学第4学舎内 48名  
" 29日(月) 大阪工業大学第2講堂 153名  
" 30日(火) 大阪市立大学工学部階段教室 58名

12月1日(水) 近畿大学19号館2号教室 57名  
" 2日(木) 大阪産業大学5号館1階会議室 101名  
" 3日(金) 大阪工業高専3階合同教室(第1次) 8名  
" 4日(土) 大阪府立工業高専土木工学教室 63名  
" 6日(月) 京都大学土木総合館 35名  
" 7日(火) 立命館大学理工学部6号館67号教室 80名  
" 8日(水) 大阪大学土木工学教室 63名  
" 9日(木) 大阪工業高専3階合同教室(第2次) 66名  
参加者合計 908名

(2) 第 6 回幹事会 (47.1.12, 土木学会関西支部) 出席者：後藤幹事長，ほか 15 名。

(3) 計画・庶務・会計担当幹事会 (第 1 回) (46.12.21, 土木学会関西支部) 出席者：田中支部長，後藤幹事長，ほか 7 名。

(4) 土木学会賞候補支部推薦委員会 (第 2 回) (47.1.12, 土木学会関西支部) 出席者：後藤幹事長，ほか 11 名。

(5) 事務所運営委員会 (第 5 回) (46.12.16, 土木学会関西支部) 出席者：土木学会，土質工学会より関係者 7 名。

(6) 山陽新幹線・水島地区見学会打合せ (第 2 回) (47.1.7, 土木学会関西支部) 出席者：土木学会，土質工学会より関係者 6 名。

(7) 支部長・騒音振動委員長懇談会 (46.12.28, 土木学会関西支部) 出席者：田中支部長，庄司騒音振動委員会委員長，ほか 2 名。

(8) 第 67 回騒音振動委員会 (46.12.14, 土木学会関西支部) 出席者：庄司委員長，ほか 9 名。

(9) 騒音振動委員会幹事会 (第 64 回) (46.12.14, 土木学会関西支部) 出席者：庄司委員長，ほか 6 名。

岩盤力学委員会編集小委員会編  
土木技術者のための

岩盤力学

B 5 490頁  
箱入・上製本

定 価 3600 円  
会員特価 3000 円(〒 200 円)

第 1 章 地質 第 2 章 岩石の性質 第 3 章 岩盤の試験 第 4 章 水と岩盤 第 5 章 岩盤力学における理論計算 第 6 章 すべり安定の計算 第 7 章 模型実験 第 8 章 掘削 第 9 章 ダムへの応用 第 10 章 トンネルへの応用 第 11 章 施工中および施工後の測定 第 12 章 最近の基礎的研究のすう勢  
＜岩盤力学のすべてを基礎と応用の二面から詳述した好著＞

●申込先 土木学会刊行物係 〒160 東京都新宿区四谷1丁目・電351-5138(代) 振替 東京 16828